

次号予告

とびら.....リハビリテーション学院 田村 美枝子
特集=切断

老人の切断.....東大病院 上田 敏

術直後の上肢義肢装着法.....兵庫リハセンター 大喜多 潤

空気圧制動膝継手遊脚相コントロール

義足の評価.....兵庫リハセンター 中村 幸夫, 他

両上肢切断.....中央鉄道病院 関 美佐子, 他

両下肢切断の理学療法.....大阪鉄道病院 鈴木 康三

講座

PT・OT と研究 (4).....国立東京病院 砂原 茂一
東大病院 上田 敏

研究と報告

幼児の身体構造に関する認識力の研究

—普通児とCP児の比較—.....倉敷くすの木園 福本 安甫

老人の関節可動域の研究.....浴風会病院 伊藤 直栄

チームの中の PT・OT

PT・OT と医師 (1)—アンケート—.....名古屋市大 野々垣嘉男, 他

A: ねむのき学園 宮城 まり子

Q and A

Q: 自治医大 谷岡 淳

東大病院 上田 敏

メディカルプロGRESS.....

都養育院 荻島 秀男

編集後記

今月号は“とびら”で五味先生いわく“横倣と経験主義の打破”説が冒頭によせられておりますが、この号は、研究と報告、読者の声etc.の投稿原稿が多く、中でもO.T.の分野で着々と開発が進められているといういぶきを感じられます。又こんな言葉がありますが、“人は努める限り迷うし、まちがいをおかす。そしてまちがいをおかす事が人間の人間たるゆえんであるといわれています”日本においてリハビリテーションという言葉が使用され、O.T.・P.T.の単語が巷に流れてき

た最近、まだまだセラピストとしての自信のなさ、迷いは常に右往左往して、自己を脅しております。こんな折、若干朗報となったのが点数化の問題です。O.T. 1日につき簡単なもので40点、複雑なもの80点、しかしここでも読者の声でよせられている様に法の盲点がある様です。簡単なものと、複雑なものの差をどこで区別するか、セラピストとして、意図して行う治療方法に多少の濃淡はあるにせよ果してどこで区別するのか、この物価高騰の折、O.T.の点数化に伴い、営利追求にのみ追われず、より一層研究の分野をも広げていきたいものです (佐藤馨)

編集顧問

天 児 民 和
九州労災病院長

五 味 重 春
府中リハビリ学院長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科
(五十音順、以下同じ)

編集委員

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
都養育院リハビリ部

佐 藤 馨
神奈川リハセンター

鈴木 明子
府中リハビリ学院

谷 岡 淳
自治医科大学

田 村 美枝子
リハビリ学院

寺 山 久美子
都心障センター

松 村 秩
都養育院リハビリ部

編集同人

明 石 謙

大 井 淑 雄

大 川 嗣 雄

大 橋 博

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

小 林 夏 子

駒 沢 治 夫

佐 藤 剛

田 原 澄 彦

富 岡 詔 子

奈 良 勲

藤 沢 しげ子

藤 本 欽 也

前 田 守

松 本 妙 子

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

横 山 巖

和 才 嘉 昭

(担当 細田・岩元・松橋)